

# ハーンを聴く 第9回 ～ハーンと神話と音楽と～



幼少期、アイルランドで育ったハーンは、日本の風景に故郷と同じ“不思議な懐かしさ”を見出しました。両国の音楽は共に「ヨナ抜きと言われる5音階（ペントニック・スケール）」を基本とするため、アイルランドの旋律からは、風や妖精のささやきのように軽やかで、どこか切ない響きを、日本の民謡からは、田畑での仕事や海での漁など自然と共に生きる力強い響きを。音の作りが似ているからこそ、私たちは初めて聴く曲でも、どこかで聴いたことがあるような郷愁を覚えるのでしょうか。明治の近代化、合理主義の時代にあって、ハーンは日本の怪談や神話に、アイルランドの民話に通じる魂の救いを感じたのでしょうか。今回は、今もなお世界中で愛されているアイルランドの、心に響く美しいメロディや軽快なダンス曲を、ハーンの作品の朗読と共にお届けします。

演 奏 Irish Cream / SIUCRA

朗 読 古木 信子

開催日 2026年 1月18日（日）

開 演 14:00（開場 13:30）

料 金 2,000円

会 場 iori Shinobutake

熊本市東区保田窪5丁目5-17

申込先 090 9482 4618（古木）

※駐車場が手狭なため、公共交通機関を利用頂くか、乗り合わせの上お越しください

## 古木宅【iori Shinobutake】

熊本市東区保田窪 5-5-17

### <バス情報>

産交バス 新南部入口下車 徒歩4分

通町筋 乗り場 2ヶ所あり

F2-1（子飼・託麻原本通り経由）

G2-3（託麻原本通り経由）

